



## 「牛の飼養衛生管理セミナー2025」開催のお知らせ

牛の飼養衛生管理に関する最新の知見や情報を発信・共有することを通じ、畜産の生産現場における飼養衛生管理の向上に資することを目的として、下記のとおり、本セミナーを開催します。

### 記

- 1 主催：独立行政法人 家畜改良センター新冠牧場
- 2 後援：帯広畜産大学
- 3 日時：2026年3月10日（火）9時～16時20分（受付開始：8時半）
- 4 会場：帯広畜産大学 産業動物臨床棟講義室

（案内図のとおり。※Zoom 配信も予定しています）

- 5 参加費：無料

- 6 プログラム（別紙1参照）

（1）開会の挨拶

（2）家畜改良センターの紹介

（3）第Ⅰ部：牛の飼養衛生管理と野生動物対策（敬称略）

- 議題1：飼養衛生管理と食の安全・安心対策

- ① 竹原一明（（公社）畜産技術協会）【畜産現場のバイオセキュリティ】

- ② 佐々木貴正（帯広畜産大学獣医学研究部門）【食品の安全確保のための畜産現場における取組】

- ③ 瀬尾哲也（帯広畜産大学生命・食料科学研究部門）【牛のアニマルウェルフェア】

- 議題2：牛の感染症対策

- ① 川治聡子（農研機構・動物衛生研究部門）【牛ヨーネ病対策】

- ② 山本健久（農研機構・動物衛生研究部門）【牛ヨーネ病対策】

- ③ 前田泰治（十勝家畜保健衛生所）【牛ヨーネ病対策】

- ④ 上田春樹（空知家畜保健衛生所）【管内A町における牛のサルモネラ症対策】

- 議題3：牧草地管理としてのエゾシカ対策

- ⑤ 稲富佳洋（北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所）

(4) 第Ⅱ部：(独) 家畜改良センター新冠牧場の取組

議題4：新冠牧場におけるヨーネ病侵入防止対策

議題5：乳用牛の妊娠期間とICTを活用した分娩管理

議題6：乳用牛の除角方法の検討

(5) 第Ⅲ部：パネルディスカッション

(6) 閉会の挨拶

7 参集範囲：畜産関係者・関係機関、大学関係者（学生含む） 等

8 会場参加者の定員：110名程度

9 参加申込み方法及び問い合わせについて

(1) 申込期限：

① 会場参加：参加希望者が110名に達した時点で受付けを終了します。

② オンライン参加：2026年2月20日（金）17時

(2) 申込方法：別紙2「参加申込書」を下記のいずれかの方法により提出ください。

① メール：niikappu-seminar@nlbc.go.jp

② Fax：0146-46-2565

(3) 不明な点等については下記までご連絡ください。

① メール：niikappu-seminar@nlbc.go.jp

② 電話：0146-46-2011（受付時間（平日のみ）：8時半～17時）

③ 担当者：齋藤 薫<sup>さいとうかおる</sup>（業務専門役）、大藪武史<sup>おおやぶ</sup>（課長補佐）

10 その他

(1) Web（ZOOM）配信を予定しています。詳細についてはオンライン参加者に直接ご連絡します。

(2) 会場での参加者が定員を上回る場合、所属機関ごとに参加者数の調整をお願いする場合があります。

(3) プログラム、講演者等については、変更等が発生する場合がありますのでご了承ください。

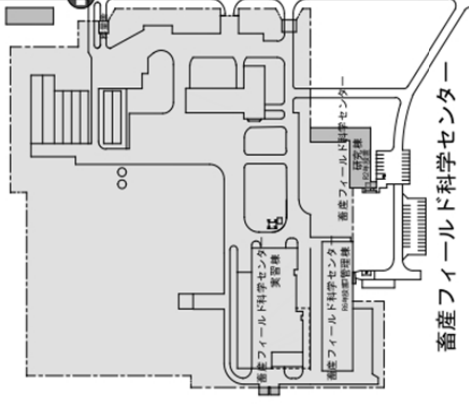
(4) 最新のセミナー開催のお知らせ、議事次第、参加申込書等は家畜改良センター新冠牧場のホームページ（<https://www.nlbc.go.jp/nikappu/index.html>）に掲載しますので、ご確認ください。

（以上）



帯広畜産大学 構内配置図  
家畜防疫交通規制

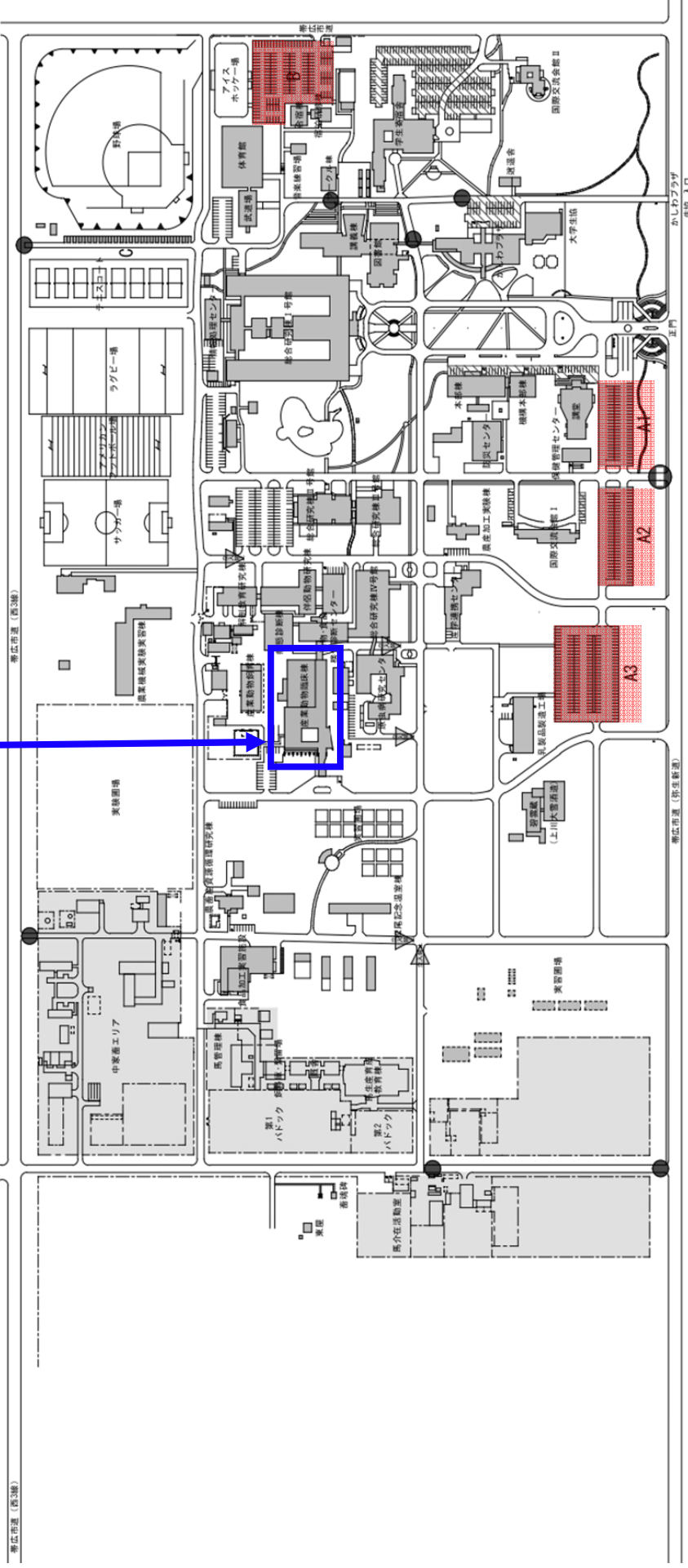
- 凡例
- 使用施設
  - 出入口規制封鎖
  - 閉鎖中
  - 関係者以外立入禁止区域
  - 立入禁止看板設置場所
  - 駐車禁止エリア
  - 利用可能駐車場エリア



畜産ワールド科学センター

「牛の飼養衛生管理セミナー2025」会場  
産業動物臨床講義室

利用可能な駐車場 (会場付近の駐車場の利用は御遠慮下さい。)



**【別紙2】**

**分かる範囲で記載  
不明の場合は空欄**

[illegible]

- ・回線数に限りがあるため、できるだけ各所属ごと接続を1回線としていただくと、御協力を願います。
- ・時間の都合上、通信が不安定な場合も、会場はそのまま進行させていただきます。また、オンラインでの質問は受け付けず、配信のみの扱いとさせていただきますので御了承願います。
- ・接続先URLは、視聴希望者あて後日メールにて送付します。